

2023年度(令和5年度)学校評価自己評価表

神辺中学校区	校番34	福山市立 神辺中 学校	No.(1)
最終更新日		2023年(令和5年)10月2日	

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	コミュニケーション 人としての思いやり 課題を発見し解決できる
- 自分が「考える、選ぶ、決める」ことを大切にする生徒が多く、効果があらわれている。 - 新校舎、図書館の環境整備など、学ぶ環境が整えられている。学校見学をしたときにロッカーや靴箱の整頓ができていて意識されている。 - Jor禍で地域貢献・地域ボランティアができていくなかで今後地域を巻き込んで活動してほしい。	- 自ら「考え選び決める」ことを大切にしたい児童生徒が増えてきた。 - 学校や地域における現在の課題を踏まえて、何が必要なのか考えたり、実際に解決したりするためにどうするのか考え動く児童生徒が増えた。 - 児童生徒数に対して、長期欠席者の数が多い。	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	共に学び、共に支えながら未来を切り開き、地域・社会に貢献する生徒
		中学校区として統一した取組等	- 児童生徒が、授業での学びを日常の様々な場面で活用し行動できるようになる。 - 児童生徒が、自己肯定感・自己有用感を高めるよう支援する。 - 校種、教科・領域をこえた合同研修等を行う。

III 自 校

ミッション
社会の中で活躍でき、貢献できる社会人となるための基礎力の育成

学校教育目標
よりよく生きる力の育成 ～主体・自律・奉仕～

現 状
<生徒> ○自分の興味や関心のあることについて、追究したりチャレンジしたりできる生徒が増えた。 ○校内にあるばら園の清掃活動など積極的に奉仕活動を行う生徒が多い。 ●運動やスポーツをすることが好き。(88.1%) ●読書が好き。(63.1%) ●不登校・長欠生徒の割合が高い。(出現率5.1%) <授業> ○学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立っている。(91.9%) ●授業で新しいことを知ったり、問題を考えたりすることが多い。(82.7%) ●授業は自分に合った教え方、教材、学習時間などになっている。(77.3%)

育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)		自他の良さを認め合いながら、未来を切り開き、地域・社会に貢献する生徒		
		学びに向かう力	コミュニケーション力	課題設定・解決力
めざす 子ども像	Lv1	生徒同士の対話、教員との対話を通して、自己の考えを広げ、やりたいことを見つけることができる。	他者の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる。他者の意見を受け止め尊重することができる。	多様な情報から必要な情報を選び、自分の体験や経験と結びつけて、課題を設定することができる。
	Lv2	選択した情報を基に、自分の考えを形成したり、伝えたりすることで、問題を見出して解決に向かうことができている。	意見の相違に対して代案を示すなどして合意形成し、積極的に社会（集団）を形成することができる。	多様な情報を検証・分析し、時間・場所等を踏まえて相手意識をもって課題設定し、解決に向かうことができる。
	Lv3	これまで学んだことを生かして、よりよく生きるために研究することや、よりよい社会づくりに貢献するために学び続けることができる。	自己の対人関係や社会（集団）とのかかわりに対する振り返りができ、適切にありあけをつけることができる。	多様な情報を検証・分析し、目的、対象、方法を明確にして実社会・実生活に生かせるような課題設定し、解決することができる。
研究	テーマ	学びをマネジメントし、主体的に学ぶ生徒の育成 ～ICTの効果的な活用を通して～		
	内容等	・教職員全員が参画できるよう、授業を計画・実施・参観・交流する。その中で協議を行い、授業改善をはかる。 ・神辺中学校区・市内グループ別研修による計画にそって行う。		
めざす授業の姿		・学習者主体の学びをマネジメントし、学力の定着をはかることができる。 ・ICT 機器の有効活用ができているかどうかを教員がチェックできる。 ・学びの中に課題発見と解決までのプロセスがある。		

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 神辺中学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	力 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期) 経営 目標の達成状況	力 評価	達成 評価	総合 評価	改善方策
2	1 学習者主体の 学びを実現す る。	★	見 直 し	・生徒も教職員も 主体的な学びに つながる授業改 善を行う。 ・共に学び、共に 支え、基礎学力の 定着を図る。 ・多様な学習方法 を充実させ、学び に向かう意欲を 高め、長期欠席者 を減少させる。	・学習場面で生徒 が課題を発見し、 解決ができるま での授業（学び） をデザインする。 ・学習場面等で繰 り返し学習でき る場面を設定す る。 ・教室と自宅やほ っとルームをオ ンラインでつな ぎ、学習支援をす る。	・授業のなかで 「何でだろう？」 「どうやってら できる？」と思っ ている生徒の割 合を昨年度以上。 （昨年度 79％） ・繰り返し学習し たことで「できる ようになった」生 徒の割合を 90％ 以上。	□取組 ・「みるみるみせ る」（教員同士の 授業参観）の実 施を通して、同 じ教科同士で参 観することで生 徒の主体的な学 びの場面を見る ことができ、互 いの授業改善に 役立てている。 ・ドリル学習を 週 2 で行ってい る。家庭学習の 定着（自主ノー ト、セミナー）を 行っている。 【生徒アンケート】 ・「何で？」「どう やってらできる ？」（85％） ・「繰り返し学習 で問題を解くこ とができるよう に な っ た 」 （88％）	3	2	・「そもそも」「何 で？」からはじ まる子どもを中 心にした学びを つくるために適 切な課題を設定 した授業展開を 行う。 ・生徒の「わかっ た」意識と実際 の定着をはかっ たもの（テスト） を比較する。 ・不登校生徒へ オンラインで授 業をつなぐ、情 報的・道具的サ ポートを引きつ づき行う。生徒 の興味関心や強 みを引き出し、 1 つでも多くの きっかけづくり をし、必要とし ていることを面 談等で把握す る。	□取組 ・試験で自分の考え や意見を述べる設問 を設定 ・振り返りの機会と して放課後学習会を 設定 ・道徳について自主 教材かの作成を行い 授業を行った ・家庭学習の充実 （自主ノート・セミ ナーなど） ◎【生徒アンケート】 ・授業内容で「なぜ だろう？」「どうや たらできる？」と疑 問をもって授業にの ぞむ （90％） ・「繰り返し学習で 問題を解くことがで きるようになった」 （89％）	3	3	3	・定期試験にお ける「ことば」の 力の育成 試験では、自分 の言葉で説明す る設問を必ず設 け、授業で行っ た内容が定着し ているか実証し ていく。また、教 職員が授業につ いて、何をすべ きか明確にす る。 ・きらルームに ついて 多様な学びの場 を提供する。自 宅と教室、ほっ とルームと教室 を繋ぐ展開を引 き続き行う。ま た、きらりルー ムの学びを全教 室で展開できる ようにする。
2	2 生徒が安心し て通うことの できる学校づ くりを実現す る。		継 続	・全教室で「安心 安全の場」をつ くり長期欠席生 徒数を減少させ る。 ・生徒の自己指導 能力を高める。	・長期欠席者ゼロ 実現委員会が中 心となって個別 対応チームを編 成し、ほっとルー ムを中心に学習 支援や心のサポ ートを行う。	・新規長期欠席者 の出現率を減ら す。（現状 1.7％） ・「学校で安心し て生活できてい る」の回答割合を 90％以上。 ・「時間を守るだ	□取組 SC や SSW を 含めた不登校対 策のために週一 回委員会を設定 し、学年や個に 応じた支援を考 えている。	3	3	・長期欠席につ いて、30日以 上の欠席数の生 徒は16人（9 月末）と多い。 （昨年度9月末 時点では、19 人。）安心安全 な場の提供がで き	□取組 ・週に1回の生徒指 導担当者会を設定 ・生徒会を中心とし たいじめストップ週 間の開催。 ・月に2度の挨拶運 動の実施 ・「話を聞く・聞かせ る」を各クラスで学 級委員会によるボス	4	3	3	・長期欠席の人 数は27人（昨 年比－2）であ る。昨年度に比 べ人数は減少し ているが、1年 生での新規長期 欠席、2年生の 長欠が多く、人

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

6	4		継続	・開かれた学校を目指し、確かな情報を公開できるよう取り組む。 ・不祥事を起こさないよう取り組む。	・ホームページを更新したり、学年学級通信等で情報を公開したりする。 ・不祥事防止委員会を活用して、内容について職員へ周知を行う。	・保護者アンケートから、「学校の様子がよくわかる」と回答する保護者の割合を昨年度以上。(昨年度73%)	☐ 取組 ホームページを定期的に更新する。 学校だよりを地域へ配付する。 ☐ 取組 月1回の不祥事防止研修と服務研修を行っている。 【保護者アンケート】「学校の様子がよくわかる」(70%)	2	2	・HPの更新、学校だより等の各種通信の発行 ・「Google クラスルーム」の活用 ・参観授業や学級懇談会の再開 情報発信を行っているが、実際にどれくらいの方にってもらっているか不明瞭な点がある。	☐ 取組 ホームページについて生徒が活躍した情報を定期的に更新する。 学校だよりを地域へ配付する。 ◎【保護者アンケート】「学校の様子がよくわかる」(74%)			・HPの更新、学校だより等の各種通信の発行について、メール配信を利用してリンクを貼り付ける。 (HPは通常20人くらいの閲覧者だがメール配信を活用した場合40人～50人に増えている。)
2	5		継続	・新規の病休者を0にする。	・教育課程の見直しや自分の仕事の優先順位を考え、時間外勤務を減らす。	・時間外勤務で月45時間未満をめざす。昨年度と比較して時間数を減少する。 ・仕事にやりがいを感じている教員が90%以上。 ・「忙しいと感じていて、新しいことに取り組む余裕がない」教職員を50%以下とする。(100NENアンケート現状80%)	☐ 取組 時間外の勤務になる時には申告制にした。 ・昨年度比平均時間外在校時間4月(R4→R5)46h→40h 9月(R4→R5)43h→40h 【教職員アンケート】 ・やりがいを感じている教員(88%) ・忙しいと感じていて新しいことに取り組む余裕がない教員(84%)	3	2	・子どもとかかわる時間や教材研究の時間を増やすために、年間を通して各分掌行事を計画的に行う。 ・新しいことへどんどんチャレンジできる雰囲気職員室からつくる。チャレンジしたいことや悩みなど相談できる会を月1回設定する。 ・業務改善を進めていくために、行事を精選するなど教育課程を見直す。	☐ 取組 時間外の勤務になる時には申告制にした。 ◎【教職員アンケート】 ・やりがいを感じている教員(92%) ・忙しいと感じていて新しいことに取り組む余裕がない教員(85%) ・昨年度比平均時間外在校時間11月(R4→R5)36h→31h 1月(R5→R6)32h→34h	3	3	・1か月の部活動などの休日における勤務の計画をたてたり、顧問の参加を交代制にする。 ・月1回の研修会を継続して開催する。 ・年間行事予定から教育課程を考え、教育的な効果がある行事を精選する。

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。